

## 28年3月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成28年3月1日～ 28年3月10日

## 2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
3月分の回答企業数は8社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/3月	4月	5月
入荷動向	国産材	21.4	14.3	28.6
	外材	8.3	0.0	33.3
在庫動向	国産材	8.3	8.3	16.7
	外材	△ 10.0	△ 10.0	10.0

・国産材ラミナの入荷は、3ヵ月連続して増加。外材は3月の増加が、4月は横ばい、5月は再び増加。

・国産材ラミナの在庫は3ヵ月連続して増加。外材は3月、4月の減少が、5月は増加。

## (2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/3月	4月	5月
国産材	7.1	14.3	7.1
欧州材	△ 10.0	△ 10.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0

・国産材ラミナの価格は、やや強含みで推移。欧州材は3月、4月のやや弱含みが、5月は横ばい。その他材は3ヵ月連続して横ばい。

## モニターからのコメント

## (ラミナ荷動き)

・外材は2月入港遅れがあり、今月は増加。現地2月積が遅れたため4月は入荷減。在庫は入荷動向に準ずる。  
・スギは前月同様横ばい。カラマツは、北海道ラミナは森林整備等の影響で丸太不足のようだが、3月は順調に手当てできた。岩手県内は製材所が丸太手当てに苦戦しているため、著しい改善は見られない。スギ在庫は、各プレカット工場の仕事量が落込みを見せていることもあり、在庫量は若干増加。カラマツは、1月～2月の在庫量の減少を正常化する見込みであるが、適正在庫まで増加させるには2月～3月を要する見込み。  
・年度末だが、ラミナーの荷動きは横ばい。決算月ということもあり、当月は在庫を減らす。

## (ラミナ価格動向)

・欧州材は為替の関係で来月下落。  
・スギ・カラマツ共に仕入価格は横ばい。  
・年度変わりに若干の上昇が見られるが、大きな変動はないと見る。

## 28年3月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

## (3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/3月	4月	5月
生産動向	国産材	6.3	31.3	37.5
	WW集成管柱	△ 12.5	△ 12.5	0.0
	RW集成平角	0.0	0.0	10.0
	米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—
出荷動向	国産材	0.0	18.8	25.0
	WW集成管柱	△ 12.5	0.0	12.5
	RW集成平角	0.0	10.0	20.0
	米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—

・国産材集成材の生産は、3ヵ月連続して増加。WW集成管柱は3月、4月の減少が、5月は横ばい。RW集成平角は3月、4月の横ばいが、5月は少しの増加。米マツ集成平角は、3ヵ月連続して横ばい。

・国産材集成材の出荷は、3月の横ばいが、4月、5月は増加。WW集成管柱は3月の減少が、4月は横ばい、5月は増加。RW集成平角は3月の横ばいが、4月、5月は増加。米マツ集成平角は3ヵ月連続して横ばい。

## (4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	28/3月	4月	5月
スギ集成管柱	△ 10.0	0.0	0.0
ヒノキ集成柱	△ 25.0	25.0	25.0
ヒノキ集成土台	0.0	16.7	16.7
カラマツ集成土台	0.0	0.0	0.0
WW集成管柱	12.5	25.0	12.5
RW集成平角	△ 10.0	10.0	10.0
米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
WW集成平角	—	—	—
米ヒバ土台角	△ 25.0	0.0	0.0
カラマツ集成平角	0.0	0.0	0.0

・スギ集成管柱は3月のやや弱含みが、4月、5月は横ばい。ヒノキ集成柱及び集成土台は3月の弱含みないし横ばいから、4月、5月は強含みで推移。カラマツ集成土台は3ヵ月連続して横ばい。

・WW集成管柱は強含みで推移。RW集成平角は3月のやや弱含みが、4月、5月はやや強含みに。

・米マツ集成平角及びカラマツ集成平角は3ヵ月連続して横ばい。米ヒバ土台角は3月の弱含みから、4月、5月は横ばい。

## モニターからのコメント

## (構造用集成材荷動き)

- ・WW管柱は、今月ラミナの入荷が多い分、増産。来月以降はラミナ在庫を使って生産は横ばい。在庫は、販売通りに行うので横ばい（値段が上がれば別だが）。
- ・2月～3月、全国的に仕事量が落ち込んでいることから生産はやや減少。平成28年度の消費税の駆け込み需要に備え、買い溜めをする流れも一部に見受けられる。12月～2月は、受注残を抱えていたこともありフル稼働であった。3月は受注残が正常化した。出荷量は変わらずに推移している。
- ・市況の落込みは思ったより激しくなく、生産は今後に向けてやや増加と見る。米ヒバは横ばい。3月、4月上旬を底に、出荷量は上向きと見る。

## (構造用集成材出荷価格動向)

- ・WW管柱は、来月若干上がると思われる。
- ・スギは一般流通価格が弱含みである。大手ハウスメーカーは一部に若干の値戻しが見えられたが、概ね横ばいの見通し。カラマツは、岩手県・北海道共に高値安定の状態が続いているため製品価格も横ばい。
- ・ヒノキは低い価格でやはり停滞すると思う。米ヒバは競合樹種多く、上昇が見込めない。出荷量によっては、数量減って横ばい傾向と考える。